



2022 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 三菱商事株式会社
代表者名 代表取締役 社長 中西 勝也
(コード:8058、東証プライム)
問合せ先 広報部 報道チームリーダー
岡本 卓馬(03-3210-2171)

剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において 2022 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を決議したと共に、期末配当予想の修正を行うことといたしましたので、下記の通り、お知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当(中間配当)の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022 年 5 月 10 日公表)	前期実績 (2022 年 3 月期第 2 四半期末)
基準日	2022 年 9 月 30 日	同左	2021 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	77 円	75 円	71 円
配当金の総額	112,715 百万円	—	105,055 百万円
効力発生日	2022 年 12 月 1 日	—	2021 年 12 月 1 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 配当予想の修正の内容

	1 株当たり年間配当金(円)		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想 (2022 年 5 月 10 日公表)	75	75	150
今回修正予想		78	155
当期実績	77		
前期実績 (2022 年 3 月期)	71	79	150

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の配当は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3. 修正の理由

当社は、「中期経営戦略 2024」において、持続的な利益成長に応じて増配を行う累進配当を基本方針としています。2022 年 5 月 10 日開催の当社取締役会決議に基づいた自己株式の取得が完了し、配当金の支払対象となる株式数が減少したことや、将来の持続的な利益の成長期待なども踏まえ、1 株当たり年間配当予想額を期初見通しの 150 円から 5 円増額の 155 円に修正いたしました。また、2023 年 3 月期の中間配当についても、1 株当たり年間配当予想額の約半分とし、1 株当たり 77 円とすることを本日開催の取締役会で決議いたしました。

以 上